



住宅火災で死者の発生危険が高い3つの出火原因

1 たばこ

- 飲酒後の寝たばこによって出火
- 灰皿に吸殻をためる等の不始末から出火

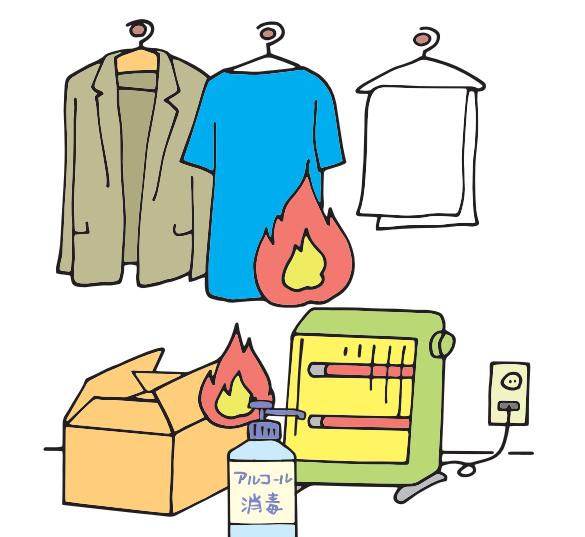


火災を防ぐポイント

- 寝たばこは絶対にしない。
- 飲酒⇒喫煙⇒うたた寝に注意!
- 灰皿の吸殻はこまめに捨てる。
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる。

2 ストーブ

- 周りの燃えやすいものに触れて出火
- 上に干していた洗濯物が落下して出火
- 電気ストーブの火災が多く発生

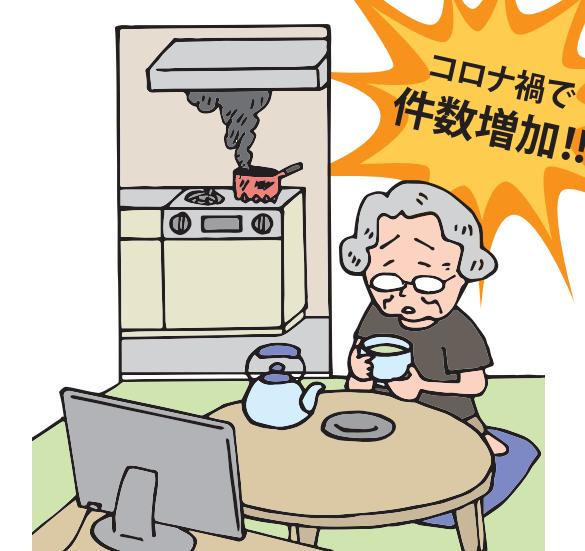


火災を防ぐポイント

- 燃えやすいものを近くに置かない。
- 外出時、就寝時は必ず消す。
- 給油は必ず消してから行う。
- 近くで洗濯物を乾かさない。

3 こんろ

- 火をつけたまま放置してしまうことで出火
- 着ている服に火がうつり着火



火災を防ぐポイント

- 調理中に離れない。
- 周りに燃えやすいものを置かない。
- 火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- 安全機能(Siセンサー)付こんろを使用する。
- 防炎製品のエプロンやアームカバーを使用する。

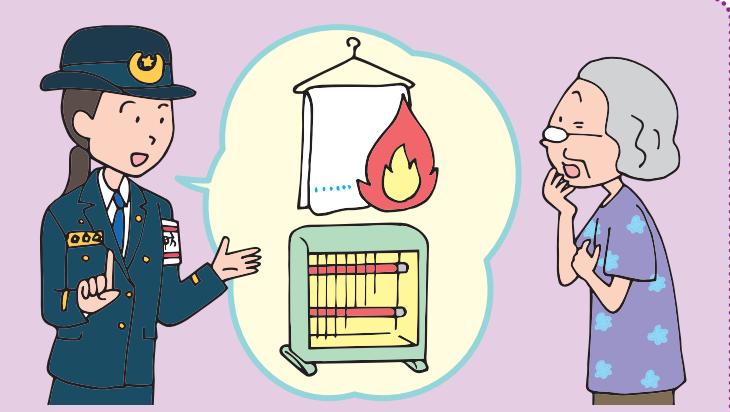
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、使用する機会が増えた消毒用アルコールは引火しやすいため、十分注意して使用しましょう。

ご相談ください!

住まいの防火防災診断

高齢者や障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が訪問し、「火災」「地震」「家庭内の事故等」の危険性をチェックし、安全・安心な生活を送るためにアドバイスなどをうながします。診断の所要時間は「約30分」です。最寄りの消防署まで、お気軽にご相談・お問い合わせください。

上のチェックポイントだけでは不安…という方も!



鳴りますか? 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器が

設置されている住宅と比べて、未設置の住宅では

火災による死者数が**2.4倍**となっています。



住宅用火災警報器って?

火災を発見し、お知らせする機器です。早期に火災を感じて、お知らせすることで住宅火災から大切な命を守ることができます。東京都の火災予防条例により、住宅の居室、階段、台所の天井又は壁に設置することが義務付けられています。いざという時に火災を感じるよう点検し、必要があれば交換しましょう。

警報器が鳴ったときは!

煙や炎が出ていないかを確認しましょう。

〈火災のときは〉

- 大声で周りに火災を知らせ、119番通報をしましょう。
- 火が小さいときは消火器などで消火を試みましょう。
- 消火が難しそうな場合は、速やかに避難してください。

被害の低減につながった事例

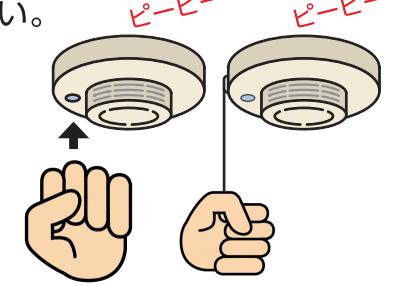
夫が2階寝室でたばこを吸いながら眠ってしまったため、たばこが布団に着火して出火した。1階にいた妻が、2階の住宅用火災警報器の鳴動音に気づいて夫の寝室へ行くと、室内に白煙が充満していたため、119番通報し、台所で洗面器に水を汲み布団にかけ、初期消火を実施した。

点検方法は?

定期的に本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検してください。詳しくは取扱説明書等をお読みください。

〈音が鳴らないときは〉

- 電池を交換してください。
- 電池がきちんとセットされているか確認してください。
- ※電池を交換しても鳴らない場合は、故障が考えられますので、本体を交換してください。



本体の交換

古くなった住宅用火災警報器は、電子部品の寿命などにより、火災のときに作動しなくなることがあるため、とても危険です。

設置から10年を目安に本体の交換をしましょう!

10年経ったから疲れた~
もう引退だ…



秋の火災予防運動

秋の火災予防運動に伴い、俳優・アーティストの城田優さんを一日消防署長にお迎えし、火災予防を呼びかけます。

城田優さんがモデルを務める秋の火災予防運動ポスターを各所で掲示するほか、YouTube東京消防庁公式チャンネルでは、城田優さんからの特別メッセージ動画を配信しています。ぜひご覧ください。

城田優さん
特別メッセージ動画はコチラから
ご覧になります!



令和2年秋の火災予防運動ポスター